

埼大・留学生相談室



Newsletter

Vol.03

2016年12月号

地元の商店街と留学生が協働するプロジェクトが始まりました。(12月6日)

さいたま市経済局商工観光部が埼玉大学の留学生とのコラボレーションで、埼大通り商店街のおもてなしプロジェクトを立ち上げました。

「商店街地域つながりカアアップ支援事業」と呼ばれるもので、具体的には、埼大通り商店街の店主たちと留学生、日本人学生が集まって、外国人にも分かりやすい地図を作成するという企画です。

埼玉大学からは、ベトナム、ドイツ、スペイン、中国、韓国、ミャンマーから計13名の留学生が参加し、商店街の店主のみなさんとグループディスカッションを行いました。留学生のほとんどは、今年の10月入学生で、外国人からみたヒントを商店街に提供することになります。今回を皮切りに、計4回のミーティングが予定されています。

2020年のオリパラを目標とし、さいたま市のおもてなし力を飛躍的に向上させる機会になると期待されています。

